

道 路 事 業

〈北海道の価値を生み出す生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり〉

北海道開発については、「第9期北海道総合開発計画」（令和6年3月12日閣議決定）において、従来の北海道の強みである「食」と「観光」を一層強化するとともに、再生可能エネルギーのポテンシャルによる「脱炭素化」を新たな価値と位置付け、豊かな北海道を実現し我が国の経済安全保障に貢献することを目指し、北海道の価値を生み出す生産空間の維持・発展を図ることとしています。

道路における具体的な取組としては、「世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成」に向け、農水産物等の輸送を支える高規格道路の整備等を推進します。また、「観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり」に向け、道の駅における情報提供の多言語化、シーニックバイウェイ北海道、サイクルツーリズム等を推進します。さらに「ゼロカーボン北海道の実現」に向け道の駅における急速EV充電施設の設置等を推進します。

気候変動により激甚化・頻発化する水災害や巨大地震等の大規模災害、インフラの老朽化の現状等を踏まえ、「生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり」に向けて、災害時における代替性確保のための高規格道路整備や基幹的な道路ネットワークの強化、社会経済活動を支える道路施設の予防保全型のメンテナンスへの転換、インフラ分野のDX化による現場の生産性・効率性の向上を推進します。

1 高規格道路

- 広域分散型社会を形成している北海道において、食・観光等の基幹産業を支えるとともに、国土の強靱性を確保し、地域間の連携強化を図るため、高規格道路ネットワークの整備を推進します。

2 改築・防災

- 災害からの迅速な復旧と、早期の日常生活・経済活動の再開を図るため、災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築を推進します。耐災害性の強化や災害時におけるネットワーク確保のため、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」等に基づき、道路防災対策等を推進します。

3 無電柱化

- 道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から実施している電柱の新設抑制及び無電柱化について、低コスト技術を積極的に導入しつつ、無電柱化推進計画に基づき、各道路管理者・関係事業者連携の下、無電柱化のスピードアップを図ります。

4 交通安全対策

- 事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的な危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する事故ゼロプラン*を推進するとともに、自転車走行空間整備を計画的に推進します。また、通学路や未就学児の移動経路において、子供の安全な通行を確保するための対策を関係機関と連携して推進します。

*事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組。

5 維持修繕

- 近年の激甚化・頻発化する災害に対応すべく、「防災・災害、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」等に基づき、河川隣接構造物の流失防止対策や道路路面・盛土対策等を推進します。
- 道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。
- 管内には、事前に規制の基準を定め通行規制を行う「通行規制区間」と道路巡回などで危険が想定される場合に事前通行規制を行う「特殊通行規制区間」が合計4箇所あります。通行規制時には迅速な情報提供により道路利用者の安全を確保します。

6 道の駅

- 地方部の「生産空間」を支える都市機能・生活機能の維持・確保を図るため、日常的な生活サービス機能を「道の駅」に集約するなど、地域の拠点づくりを支援していきます。また、「道の駅」の交通結節点化や防災拠点化など、地域の拠点化に向けた多様な取組を推進します。

道路事業の概要

事業内容	主要事業
高規格道路	E5 北海道縦貫自動車道 七飯～大沼
改築・防災	国道228号 白神防災 国道229号 冷水橋架替、乙部防災 国道278号 尾札部道路
交通安全対策	国道5号 宿野辺付加車線整備、駒ヶ岳中央帯整備 国道228号 かもめ島入口交差点改良 国道230号 神丘視距改良 国道277号 鉛川視距改良
無電柱化	国道5号 函館若松電線共同溝、赤松街道電線共同溝 国道279号 十字街電線共同溝
維持修繕	河川隣接構造物の流失防止対策 道路施設の老朽化対策 道路路面・盛土の土砂災害防止対策 等



七飯～大沼 オオヌマトンネル本坑着手



国道227号 渡島中山防災開通
(令和5年12月6日延長1.4km開通)



国道278号 無電柱化状況



ランブルストリップスによる交通事故対策
(国道5号)



道路法面対策(国道5号)



EV充電施設利用状況 道の駅「あさぶ」